



バイオテクノロジーの第二の産業化の離陸に対応して、  
バイオ投資の目利きをケース・スタディに基づいて行う  
人材開発プログラム。

慶應大学先端生命科学研究所での実習を始め、  
キーパーソンによる充実のカリキュラムをご用意。  
先端研究者や有望ベンチャー、投資家、  
政府関係者との強固なネットワークも築けます。

新型コロナ流行時は  
Webexでウェブセミナー  
を行います

第3期

## バイオインベストメントギルド (BIG)

主催：(株) 宮田総研 共催 (株) ヘルスケアイノベーション

新型コロナ・パンデミックの影響で世界の実態経済が低迷、各国の財政出動や金融緩和によって支えられた株式市場だけが異様な盛り上がりを見せています。そんな異常事態がバイオ産業には幸いしつつあります。どうやら2020年はバイオ産業にとって最高の年となった模様です。米国のメディアBioworldの調査によれば、2020年にバイオ産業は全世界で1340億ドル(約14兆1879億円)もの投資資金を確保することに成功しました。そのほとんどが研究開発投資に回ることを考え、加えて新型コロナによって世界は新薬やワクチン、そして診断薬開発の重要性を深く認識したことも考えると政府や慈善団体からの投資も増加するはず。つまり、ここ5年から10年のバイオや生命科学の研究を加速させるガソリンが、バイオ産業に注入されたのです。未来がますます楽しみになってまいりました。

一方、アンチセンスDNAやsiRNA、mRNAワクチン、そして遺伝子治療や低分子のスプライシング修飾薬など、次々と新しいモダリティの新薬が上市されています。米国食品医薬品局は2020年11月までの1年間で59品目の新薬を認可、過去最多を記録しました。他家iPS細胞由来の再生医療の開発も、加齢性黄斑変性性、心筋シート、脊椎損傷、パーキンソン病、角膜病変、網膜色素変性など、続々と始まりました。大日本住友製薬はiPS細胞由来の網膜組織の臨床研究まで始まりました。ゲノム編集で改良されたTCR細胞やCAR-T細胞などの臨床研究も始まり、地中海貧血をゲノム編集治療(一種の遺伝子治療)で治すことを目的とした治験も19年にドイツで始まりました。バイオ医薬の大河である抗体医薬の市場は順調に拡大、既に100種以上の抗体医薬が世界市場で販売されています。抗体誘導体や低分子抗体の実用化も始まりました。バイオ医薬の売り上げは、世界の新薬市場の5割に迫るまで成長しました。

今やバイオテクノロジーなどの技術革新を無視することは、どんな企業でも不可能になっています。技術や製品、ビジネスモデルを評価して、最適のタイミングで投資を行うかが、皆さんの企業の成長の鍵を握ります。まさにイノベーションの嵐に立ち向かう遅い目利きの養成が不可欠です。今回は製薬企業やベンチャー企業だけでなく、ベンチャーキャピタルや投資家にも門戸を広げ、技術の潮流の握りや技術評価に加えて、有望ベンチャー企業との出会いの機会も提供し、わが国のバイオベンチャーの成長を加速する人材の育成も行います。

この絶好の機会に、バイオインベストメントギルドに人材を送り込み、貴社のバイオ投資や技術導入を成功に導く人材の育成を行っていただくようお願いします。



株式会社 宮田総研 代表取締役社長 宮田 満



## 第3期 バイオインベストメントギルド(BIG)

### 目的

バイオベンチャーに投資を行い、バイオ産業を成長させる投資人材を育成する。国内外のBest&Brightestの才能との連携を提供し、技術突破を実現する。

### カリキュラム

#### 1 セミナー

原則第2金曜日 18時から20時半+講師を囲んだV懇親会単なる座学ではなく、討議を中心に展開  
毎回、市場や技術に関する俯瞰的レビューと投資のリスクを解説  
最先端の研究者と有望ベンチャーのキーマンを講師として招聘  
講義のハンドアウトをクラウドで可能な限り提供します

#### 2 実習 鶴岡までの往復交通費は別途負担願います、参加者は抽選で選抜)

2021年8月末、もしくは9月初めの金曜日と土曜日に山形県鶴岡市の慶應義塾先端生命科学研究所で、遺伝子操作から最先端のメタボローム解析までを体験します。初歩の初歩から説明いたしますので、まったく未経験の方でも参加できます。実際に実験して、バイオを体感することが重要です。これによって実際の技術の落とし穴を見抜く力を養います。また、最先端のバイオの講義に加えて、同研究所からスピンアウトした9社のバイオ・AIベンチャーとの交流も行います。鶴岡市が全面的に支援。新型コロナによっては開催できない場合もあります。

#### 3 参加会員専用メーリングリスト

講義の案内や実習のオリエンテーションなどをお知らせいたします。

### 日程・会場

日程：

**2021年7月9日(金)から開始**

原則第二金曜日(8月、12月は休講)18時より20時半

その後、リモート懇親会あり

会場：

Webexによるリモート会議

### 費用

1名 10万円(税別)

本プログラムの参加は企業単位で承ります。参加費用は受講生1名当たり10万円。2名参加希望の場合は20万円です。3名以上の参加は原則としてお受けできません。1名の受講生が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

一人が全コースを履修することが望ましいですが、代理出席も認めております。講義代、実習費用、資料代も含んでおります。

**支払い方法**：4ページ目の申込書をPDFでメール添付送信していただいた後、請求書を送付させていただきます。指定の口座にお振込み願います。



第3期 **バイオインベストメントギルド**(BIG)

2021年

**7月** オリエンテーリング+特別講義  
「バイオ産業の最新潮流」

**8月** 実験室の制約のため、参加者は厳正な抽選にて選抜

8月末、もしくは  
9月初めの  
金曜日・土曜日 **慶應義塾先端生命科学研究所で実習**  
最新のバイオとメタボローム解析を体感

**9月** ゲノム解析の最先端

東北メディカルメガバンク、イルミナ、京都大学など

**10月** 次世代ゲノム編集技術とは何か？

C4U、バイオパレット、エディットフォースなど

**11月** 創薬のDxはどこまで行くのか？

慶應大学、Exscientia社、シュレジンガー

2022年

**1月** 新春講演会  
「今年の日米のバイオベンチャーはこうなる！」

いちよし経済研究所、注目バイオベンチャーなど

**2月** デザイン細胞の新展開

慶應大学、大日本住友製薬、アステラス製薬、ベンチャー

**3月** IN VIVO 遺伝子治療とその限界

自治医科大学、遺伝子治療研究所、ベンチャー

**4月** 静脈系バイオ医薬の可能性

AutoPhagyGo、リジェネフロ 京都大学

**5月** 離陸する核酸医薬の現実

国立精神神経センター、アルナイラム

**6月** 中枢神経疾患の制圧の手がかり

理国立精神神経センター、東京大学、ベンチャー

第3期 **バイオインベストメントギルド**(BIG)

**申込書** (2021年－2022年) ベンチャー企業

企業単位で申し込みを承ります。下記に必要事項を記入し、PDFでメール添付送信願います。

**申込期限：2021年6月30日(水) 必着**

送信先：**manman5453@hotmail.co.jp** (宮田宛て)

管理 No.VB

会社名				
所属部署				
申込者氏名	セイ	メイ		
	性	名		
ご住所	□□□□—□□□□			
TEL	— —	FAX	— —	
E-mail				
請求書送付先	会社名			
	所属部署			
	ご担当者名	セイ	メイ	
		性	名	
	ご住所	□□□□—□□□□		
TEL	— —	FAX	— —	
E-mail				

お問い合わせ (株)宮田総研 宮田 満 manman5453@hotmail.co.jp 090-2435-2114